阿蘇郡市中体研

理事長　志賀　祐介

1　はじめに

これまで阿蘇郡市は、坂梨正文校長（小国中学校）を中心に１２校１４名の保健体育科担当で研究を進めてきた。一昨年度は会員で役割分担を行い各領域の単元構造図の作成とその検証、運動の特性を機能的特性、構造的特性、効果的特性の３つに整理しその検証に取り組んだ。今年度はその取り組みを土台としてより現実的な実践を行うことで研究を進めた。

また、これまでの研究の中で見えてきた阿蘇郡市の生徒の体力の実態や課題から授業を中心として体力の向上を図りたい。

2　研究テーマ

阿蘇郡市　平成２７年度
「自ら運動の喜びや楽しさを求め、
生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ保健体育学習の在り方」
～「分かって　できる」「できて　分かる」結びつきを大切にした授業を目指して～

3　研究組織

会長
坂梨正文校長
（小国）

副会長
中尾幸治（一の宮）
木下琢磨（久木野）

理事長
志賀祐介（小国）
副理事長
志賀貴文（一の宮）

研究委員
緒方・東（阿蘇）・林（産山）
中尾（波野）・米良（南小国）
宮﨑（西原）・廣津（長陽）
木村（高森）・古門（高森東）
田邉（白水）・境（久木野）

4　活動状況

会議	期日	内容
1　中体連評議委員･体育担当者会	5 月 1 日（金）	H27 年度組織決定 授業者決定（小国中：志賀祐）
2　第 1 回阿蘇郡市教育研究会総会	5 月 7 日（木）	昨年度の実践の報告・まとめ 研究テーマ・組織・方向性検討
3　熊本県中体研夏期研修会 体育実技講習会	7 月 30 日(木) 7 月 31 日(金)	研中体研指導案検討 実技研修（バドミントン）
4　熊本県学校体育研究発表大会	11 月 19 日（木） 11 月 20 日（金）	熊本市　会場：熊本農業高等学校
5　第 2 回阿蘇郡市教育研究会 中学校体育保健体育部会	11 月 26 日（木）	公開授業及び授業研究会 ※次年度の研究授業校決定
6　阿蘇郡市中体連・中体研反省	2 月 26 日(金)	年間活動の反省 来年度への志向

5　研究の概要

生涯スポーツ

保健体育科の目標

自ら運動の喜びや楽しさを求め、
　生涯にわたり健やかな心と体を育む保健体育学習の在り方
～「分かって　できる」「できて　分かる」
　結びつきを大切にした授業を目指して～

研究の仮説

仮説１
単元を通して学習内容を明確にし、学習過程を工夫し授業実践・評価を行えば、生徒は見通しを持って自ら進んで運動に取り組み、運動の喜びや楽しさを味わい、生涯にわたって健やかな心と体を育む基礎が培われるであろう。

仮説２
課題解決の場において「分かってできる」「できて分かる」活動を効果的に行い、自他の考えを深め、かかわり合いながら運動に取り組むことができれば、豊かなスポーツライフの実現の基盤が培われるであろう。

研　究　の　内　容

改善（ACTION）

ゴールが見える「めあて」の提示、見通しを持って自主的に運動に取り組める単元計画の作成。
計画（PLAN）

「分かってできる」「できて分かる」達成感、成就感学習、効果的にかかわり合う授業展開と指導方法の工夫。
実践（DO）

「めあて」に即した学習の振り返りと、何を、いつ、どこで指導し、評価していくか、指導と評価の一体化の工夫。
評価（CHECK）

具　体　的　な　研　究　の　内　容

視点１
運動の特性をもとに学習内容を明確化し自主的に運動に取り組むことができる「めあて」提示と単元計画の作成。

視点２
「分かってできる」「できて分かる」結びつきがあり、達成感・成就感を味わい意欲が高まる指導の工夫。

視点３
言語活動を整理・予想し、生徒が効果的にかかわり合う学習形態、授業の展開と指導方法の工夫。

視点４
生徒が学習を振り返り、次の学習に見通しを持って取り組める学習過程の工夫、学習カード、評価方法・活動の工夫。

6　まとめ

研究テーマから２つの仮説を立て４つの視点で今年度１１月２６日に研究授業、検証を行った。視点を絞ったことで成果や反省が具体的に見えてきた。今回は特に二つの課題が見られた。一つが「めあて」の提示はできているが、ゴールが見える「めあて」の内容について。次にその「めあて」対しての振り返りの時間の確保である。しかし、指導と評価の一体化についての学習カードの工夫や「分かってできる」「できて分かる」繋がりのある授業においては少しずつではあるが成果が見られた。この成果と課題をもとにさらに研究を深めていくなかでテーマにせまっていきたい。